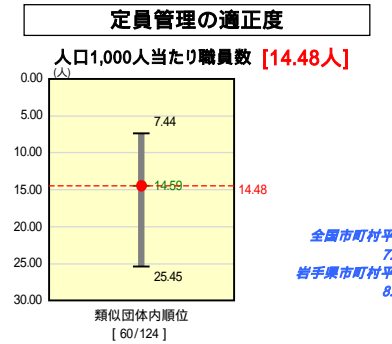
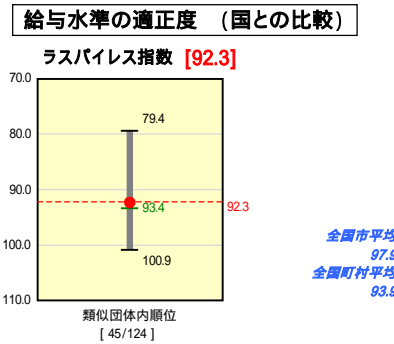
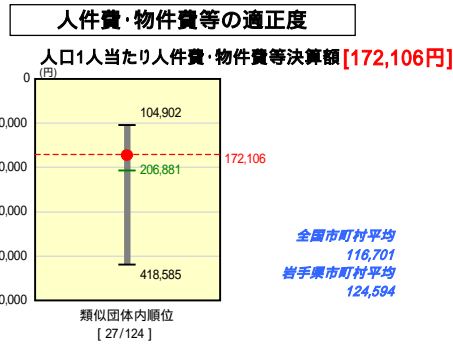
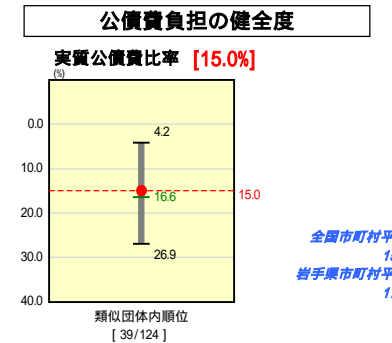
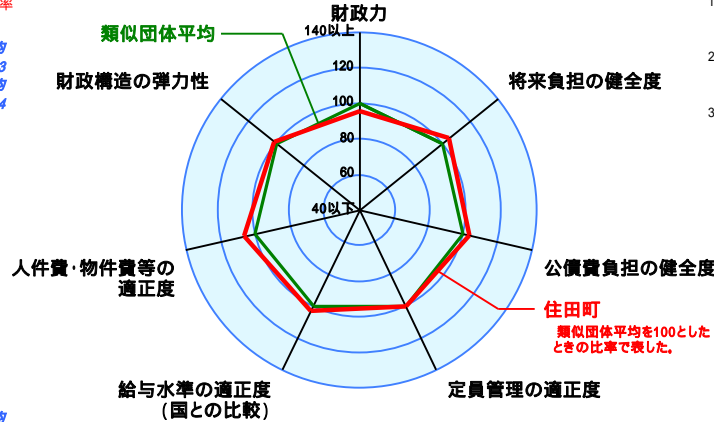
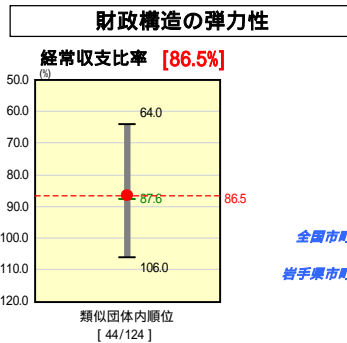
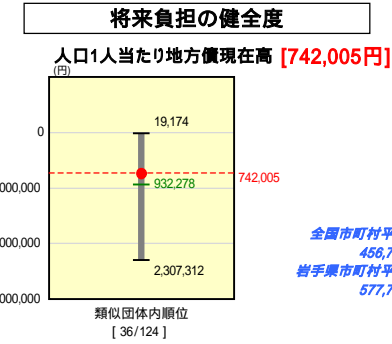
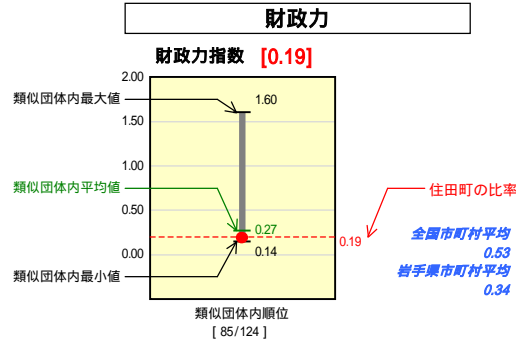


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岩手県 住田町

人口	6,697	人(H19.3.31現在)
面積	334.83	km ²
歳入総額	4,564,981	千円
歳出総額	4,493,160	千円
歳出総額	71,821	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【**財政力指数**】 類似団体比 0.08 前年度比+0.01
人口減少や全国平均を上回る高齢化率(平成18年10月1日現在37.45%)に加え、町内に中心となる産業がないことなどにより、財政基盤が弱く類似団体平均を0.08下回っている。税源移譲により前年度に比べ0.01増加したが、今後も住田町総合計画(H19～H28)に掲げる人口増加対策と産業振興などにより歳入確保に努める。

【**経常収支比率**】 類似団体比 1.1 前年度比 1.6
経常一般財源歳入が繰入金や物件費の増により全体で39,639千円(1.6%)増加したが、経常一般財源歳入が地方交付税や地方譲与税の増により全体で77,333千円(2.7%)増加したため、経常収支比率は前年度に比べ1.6減少し類似団体平均を1.1下回った。人件費(H17:30.5 H18:28.8)、公債費(H17:25.1 H18:24.1)の比率が減少した一方、繰入金(H17:10.0 H18:11.8)の比率が増加しているため、業務の外部委託などにより抑制に努める。

【**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**】 類似団体比 34,775 前年度比 4,448
類似団体と比較して34,775円低くなっている要因は、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部組合への負担金や公営企業会計への繰入金のうち人件費・物件費などに充てる分を合計した場合、この金額は大幅に増加することになるため、今後はこれらも含めた経費について抑制する必要がある。

【**ラスパイレス指数**】 類似団体比 1.1 前年度比+0.5
人事交流などにより職員の階層構成が変化し前年度に比べ0.5増加したが、類似団体に比べ1.1下回っている。

【**人口1人当たり地方債現在高**】 類似団体比 190,273 前年度比+6,432
地方債の残高は前年度に比べ94,477千円減少しているが、人口が187人(2.7%)減少したため一人当たりの残高は6,432円増加した。しかし、病院・消防・ゴミ処理などを町単独では行っていないことや地方債の発行を抑制してきたことから類似団体に比べ190,273円下回っている。今後も適正な事業の展開に努める。

【**実質公債費比率**】 類似団体比 1.6 前年度比+2.5
算定方法の変更(公有林整備事業債の算入)により前年度に比べ2.5増加したが、地方債現在高と同様の理由により類似団体に比べ1.6下回っている。今後も適正な事業の展開により現在の水準の維持に努める。

【**人口1,000人当たり職員数**】 類似団体比 0.11 前年度比 0.34
平成19年4月1日に職員数が5名減少したことから、前年度に比べ0.34減少し類似団体平均を0.11下回った。定員適正化計画に定める目標(H22.4.1現在で職員105人、H18.4.1現在112人(特別会計含む))の達成に向け今後も引き続き適正な定員管理に努める。